Creative Enzymes®

ヒト由来グルコキナーゼ（組換え体）

Cat. No. NATE-1686

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	グルコースは、グルコキナーゼによりグルコース-6-リン酸へリン酸化される。本遺伝子は選□的スプライシングにより3種類の異なる酵素アイソフォームを生成し、そのうち1種は膵臓に、2種は肝臓に発現する。本遺伝子の主な機能は、炭水化物代謝の調節である。E. coliで産生された組換えヒトグルコキナーゼは、485アミノ酸（1–465 a.a.）からなる単一の非糖鎖付加ポリペプチド鎖であり、分子量は54.3 kDaである。GCKはN末端に20アミノ酸のHisタグを融合しており、独自のクロマトグラフィー精製技術により精製されている。
別名	EC 2.7.1.2；グルコキナーゼ；グルコキナーゼ（リン酸化酵素）；9001-36-9；GCK；FGQTL3；GK；GLK；HHF3；HK4；HKIV；HXKP；LGLK；MODY2；ヘキソキナーゼIV型；HK IV；ヘキソキナーゼ-4；ヘキソキナーゼD

製品情報

種	ヒト
由来	大腸菌
形態	液体
製剤化	GCKタンパク質溶液（1 mg/mL）には、20 mM Tris-HCl緩衝液（pH 8.0）および10%グリセロールが含まれています。
EC番号	EC 2.7.1.2
CAS登□番号	9001-36-9
分子量	54.3kDa
純度	SDS-PAGEにより95%
活性	2,000 pmol/分/μg
濃度	1 mg/mL
単位定義	1ユニットは、pH 8.0、37℃において、1分間にD-グルコース1 pmolをD-グルコース-6-リン酸へ□換する酵素活性として定義されます。

保管・発送情報

保存方法	バイアル全量を2~4週間以内に使用する場合は、4℃で保存してください。より長期間保存する場合は、−20℃で凍結保存してください。長期保存においては、キャリアタンパク質（0.1% HSAまたはBSA）を添加することが推□されます。凍結融解の反復は避けてください。